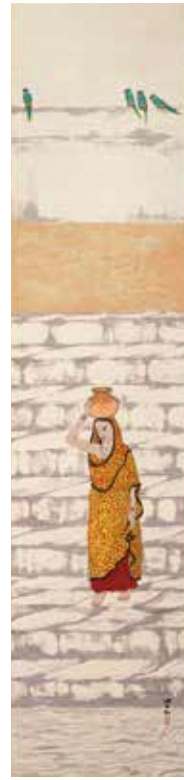


新画

2022年 11月18日(金) ~
2023年 1月15日(日)

前期 11月18日(金) ~ 12月11日(日) 後期 12月13日(火) ~ 1月15日(日)
※会期中、一部展示替えを行います。



今村紫紅《水波む女》1914年 平塚市美術館蔵 ※後期展示予定



岸田劉生《四季の花果園 大根・慈姑・蜜柑(冬)》1924年 東京国立近代美術館蔵 ※前期展示予定

開館時間 11月 午前9時30分 ~ 午後6時(入室は午後5時30分まで)
休館日 12月曜日(ただし、1月9日は開館)、
11月24日、12月29日 ~ 1月3日、1月10日
主催 11 富山県水墨美術館、北日本新聞社、チューリップテレビ

- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 富岡鉄斎 | 大山魯牛 | 小川芋銭 | 横山大観 |
| 小室翠雲 | 福田眉仙 | 平福百穂 | 富田溪仙 |
| 今村紫紅 | 津田青楓 | 森田恒友 | 小杉未醒 |
| 西晴雲 | 橋本閑雪 | 石井林響 | 前田青邨 |
| 萬鉄五郎 | 土田麦僊 | 水越松南 | 村上華岳 |
| 小野竹喬 | 岸浪百艸居 | 山口八九子 | 矢野橋村 |
| 石川寒巖 | 岸田劉生 | 楠瓊州 | 速水御舟 |



村上華岳《秋絵圖》1935年 東京国立近代美術館蔵 ※後期展示予定



横山大観《眺山雲》1919年 水野美術館蔵 ※前期展示予定

THE SUBOKU MUSEUM, TOYAMA
富山県水墨美術館



水越松南《化粧》1931年 京都国立近代美術館蔵 ※前期展示予定

Modern-Age

近代

大正~昭和初期を
中心として

2023 2022
 年 年
 1 11
 月 月
 15 18
 日 日
 (日) (金)

前期 11月18日(金) ~ 12月11日(日)
 後期 12月13日(火) ~ 1月15日(日)
 ※会期中、一部展示替えを行います。

開館時間 11月 午前9時30分 ~ 午後6時
 (入室は午後5時30分まで)
 休館日 11月 月曜日(ただし、1月9日は開館)、
 11月24日、12月29日 ~ 1月3日、1月10日
 主催 11 富山県水墨美術館、北日本新聞社、
 チューリップテレビ

南画

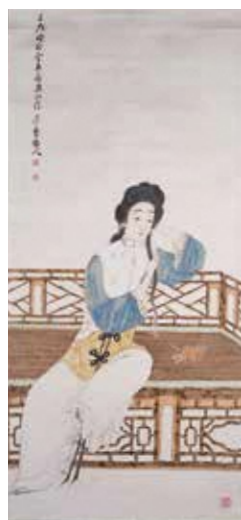
- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 富岡鉄斎 | 大山魯牛 | 小川芋銭 | 横山大観 |
| 小室翠雲 | 福田眉仙 | 平福百穂 | 富田溪仙 |
| 今村紫紅 | 津田青楓 | 森田恒友 | 小杉未醒 |
| 西晴雲 | 橋本閑雪 | 石井林響 | 前田青邨 |
| 萬鉄五郎 | 土田麦僊 | 水越松南 | 村上華岳 |
| 小野竹喬 | 岸浪百艸居 | 山口八九子 | 矢野橋村 |
| 石川寒巖 | 岸田劉生 | 楠瓊州 | 速水御舟 |



今村紫紅《牛飼う男》1914年 平塚市美術館蔵 ※前期展示予定



小川芋銭《月輪穿沼》1925年 茨城県近代美術館蔵 ※後期展示予定



小室翠雲《陸金紋図》1922年 栃木県立美術館蔵 ※前期展示予定



今村紫紅《蓬萊郷》1915年 川越市立美術館蔵



小杉未醒《放巻》《長夏深柳》1919年頃 栃木県立美術館蔵

Modern-Age

近代

大正~昭和初期を
 中心として

富山県水墨美術館
 THE SUBOKU MUSEUM, TOYAMA

南画

- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 富岡鉄斎 | 大山魯牛 | 小川芋銭 | 横山大観 |
| 小室翠雲 | 福田眉仙 | 平福百穂 | 富田溪仙 |
| 今村紫紅 | 津田青楓 | 森田恒友 | 小杉未醒 |
| 西晴雲 | 橋本閑雪 | 石井林響 | 前田青邨 |
| 萬鉄五郎 | 土田麦僊 | 水越松南 | 村上華岳 |
| 小野竹喬 | 岸浪百艸居 | 山口八九子 | 矢野橋村 |
| 石川寒巖 | 岸田劉生 | 楠瓊州 | 速水御舟 |



小室翠雲《採蓮船》1919年 群馬県立近代美術館蔵 ※後期展示予定



速水御舟《閑亭》1914年 福井県立美術館蔵



村上華岳《菩提樹下観法之図》1934年 兵庫県立美術館蔵 ※前期展示予定



岸田劉生《四季の花果図 橙柿図(秋)》1924年 東京国立近代美術館蔵 ※前期展示予定

2023 2022
年 年
1 11
月 月
15 18
日 日
日 金

前期 11月18日(金)〜12月11日(日)
後期 12月13日(火)〜1月15日(日)
※会期中、一部展示替えを行います。
開館時間 午前9時30分〜午後6時
(入室は午後5時30分まで)
休館日 11月曜日(ただし、1月9日は開館)
11月24日、12月29日、1月3日、1月10日
主催 富山県水墨美術館、北日本新聞社、
チューリップテレビ

富山県水墨美術館

THE SUBOKU MUSEUM TOYAMA

Modern-Age

近代

大正～昭和初期を
中心として



橋本閑雪《瀟湘八景(烟寺晚鐘)》1916年頃 富山県水墨美術館蔵 ※後期展示予定

2023 年 11 月 15 日 (日) 2022 年 11 月 18 日 (金)

前期 11月18日(金) ~ 12月11日(日) 後期 12月13日(火) ~ 1月15日(日)
 ※会期中、一部展示替えを行います。

南画



山口八九子《冬山入杵》1929年 京都市立近代美術館蔵 ※前期展示予定



小川芋銭《水魁戯》1923年 茨城県近代美術館蔵 ※前期展示予定



津田青楓《お茶の水風景》1918年 京都市美術館蔵 © Rieko Takahashi 2022/JAA2200129



富田深仙《水郷楼雨晴図》不詳(1914-16年頃) 富山県水墨美術館蔵



横山大観《矢走帰帆》1918年 滋賀県立美術館蔵 ※後期展示予定

- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 富岡鉄斎 | 大山魯牛 | 小川芋銭 | 横山大観 |
| 小室翠雲 | 福田眉仙 | 平福百穂 | 富田溪仙 |
| 今村紫紅 | 津田青楓 | 森田恒友 | 小杉未醒 |
| 西晴雲 | 橋本関雪 | 石井林響 | 前田青邨 |
| 萬鉄五郎 | 土田麦僊 | 水越松南 | 村上華岳 |
| 小野竹喬 | 岸浪百艸居 | 山口八九子 | 矢野橋村 |
| 石川寒巖 | 岸田劉生 | 楠瓊州 | 速水御舟 |

Modern-Age

近代

大正～昭和初期を中心として

THE SUIKOKU MUSEUM, TOYAMA
 富山県水墨美術館

開館時間 11 午前 9 時 30 分 ~ 午後 6 時 (入室は午後 5 時 30 分まで)
 休館日 11 月曜日 (ただし、1 月 9 日は開館)、11 月 24 日、12 月 29 日 ~ 1 月 3 日、1 月 10 日
 主催 富山県水墨美術館、北日本新聞社、チューリップテレビ

なんが
南画とは、古今東西の画派の要素を採り入れながら生まれ、江戸後期から明治初期にかけて流行した日本独自の絵画です。池大雅や与謝蕪村らの名が知られる南画は、本来、反権威的で柔軟な性格でした。しかし、形式主義にとらわれた「つくね芋山水」と批難されるなかで明治半ばには衰退したものと、日本の近代美術史ではあまり重要視されてこなかった経緯があります。

ところが、大正期には西洋美術の新思潮「ポスト印象主義」以降の動向が日本画家たちにも影響を与え、南画に再び注目が集まります。洋画から日本画に転じた画家たちなども含め、画派を超えた自由な精神と表現性が見られる新時代の絵画は「新南画」と呼ばれました。

本展ではいくつかの観点から近代の南画を再考し、近代日本美術史のもうひとつの姿を探ります。

南画とは？・・・「南画」という言葉は、知識人が余技として描いた絵というのが本義である「文人画」や、中国山水画の中で簡略・軽淡で清雅なものに価値を置く「南宗画」と混用され、定義としてはあいまいです。しかし、大正期の画家たちが注目したのは、テクニックよりも表現性を重んじる姿勢だったといえます。



1



2

関連行事

開催内容等は、変更・中止する場合があります。最新の情報はウェブサイト、SNS等でご確認ください。

① 講演会「新南画の魅力」 11月26日(土) 午後2時～午後3時30分頃

講師＝大熊敏之氏(日本大学芸術学部美術学科教授) ○会場＝映像ホール ○定員＝先着50名

※要・事前申込 ※聴講無料 ※展示室に入室の場合は当日有効の本展観覧券が必要です。

〈申込方法〉水墨美術館へ電話で申し込みください。(Tel. 076-431-3719)

○受付開始＝11月1日(火) ○受付時間＝開館日の午前9時30分～午後6時

※定員に達し次第、締め切りといたします。

② ギャラリートーク 12月10日(土)、1月7日(土) 各日午後2時～

講師＝当館学芸員 ○会場＝展示室1・2 ※申込不要 ※聴講無料 ※要・当日有効の本展観覧券

③ ミュージアムコンサート2022「彩風の通り道」 12月16日(金) 午後6時開演

○会場＝エントランスホール ○定員＝50名(申込多数の場合は抽選) ※要・事前申込 ※入場無料

〈申込方法〉富山県文化振興財団のウェブサイトから、または、はがきでお申し込みください。

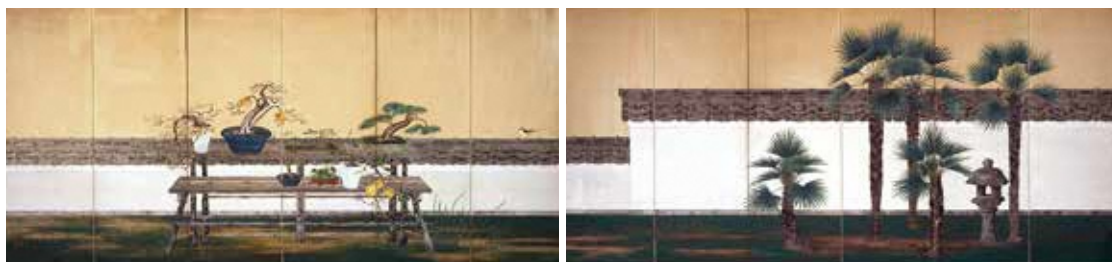
○申込期間＝9月30日～11月25日到着分まで有効

○お問合せ・はがきご送付先＝富山県文化振興財団(〒930-0006 富山市新総曲輪4-18 Tel. 076-432-3111)



3

図版・・・1. 平福百穂《清江捕魚》1931年 京都国立近代美術館蔵 ※前期展示予定 2. 今村紫紅《印度旅行スケッチ帳》1914年 東京国立近代美術館蔵
3. 水越松南《驟雨図》1935年 京都国立近代美術館蔵 ※前期展示予定 4. 岸浪百舛居《秋庭》1934年 群馬県立近代美術館蔵
5. 萬鉄五郎《風景》1921-27年 平塚市美術館蔵 ※後期展示予定 6. 土田麦僊《伊豆の海》1917年 大阪中之島美術館蔵 ※後期展示予定



4



5



6

観覧料：一般 900(700)円 大学生 450(350)円 前売一般のみ 700円

※()内は20人以上の団体料金。 ※小・中学生・高校生及びこれらに準ずる方、各種障がい者手帳をお持ちの方は無料。

【前売券販売所】11月17日まで販売／富山県水墨美術館、富山県美術館、アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)

常設展示 近代水墨画の系譜 下保昭作品室 ※企画展の観覧券でご覧いただけます。

館内施設 茶室「墨光庵」(立礼席、薄茶とお菓子) ※本展会期中は11月の土日祝、午前11時～午後4時のみ営業。

ミュージアムショップ「風花」

次回企画 対決!くらべて見よう、これとコレ 2023年2月17日(金)～4月上旬(予定)

交通のご案内 【富山駅南口から】●市内電車(大学前行)「トヨタモビリティ富山 Gスクエア五福前(五福末広町)」下車、徒歩約10分

●地鉄バス③乗場から小杉・高岡方面行「五福末広町」下車、徒歩約10分／⑦乗場から四方・呉羽山老人センター・石坂・北代循環行「畑中」

下車、徒歩約10分 ●タクシー約10分 【富山空港から】タクシー約25分

【北陸自動車道】富山IC、富山西ICから自動車約20分 【無料駐車場】乗用車165台、バス7台

富山県水墨美術館

THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAMA

〒930-0887 富山市五福777 Tel. 076-431-3719 Fax. 076-431-3720 <https://www.pref.toyama.jp/1738/>

当館では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に取り組みながら開館しております。ご来館の際は、マスク着用や手指の消毒など、感染防止の取り組みにご協力ください。また、展示室への入場制限を行う場合がありますのでご理解のほどお願いいたします。

